

百廿六内

共廿二

百

内閣文庫			
和	三〇七八八	冊	類
一三六	冊	類	類
六十三	冊	類	類

内閣文庫	
番號和	30788
冊數	126 45
函號	160 130

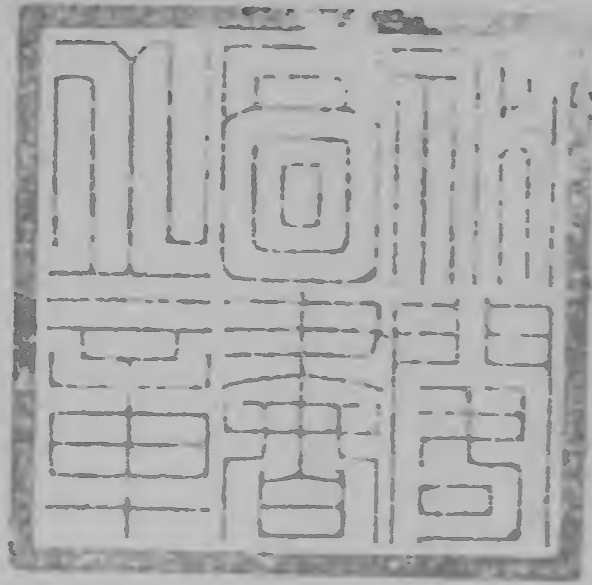
日記

天明二年 癸卯年

正月 二月 三月 四月 五月 六月

周304





田代宗政印

田代宗政
酒井石見守
井伊直政
牧野善左衛門
正木元道
松平定信
寺田宗信
江崎大膳
此一長柄母

正月廿四日

一 今屋刻由白書流

出

尾張大納殿
水戸守相殿

右奉以出札等上之御名頂戴是後是也
一 純信中納殿之御名頂戴是後是也
是後是也

松平北澤
松平源五郎
松平左近

松平九郎重
松平指津
井伊直正
松平掃部
松平大守
友堂和采
松平徳政
松平渡河
松平因房
田沼之儀
世大和

右居丹波
水野右衛門
酒井雅重

右之人... 頂戴是... 酒

松平雅重
松平出雲
井伊直正
酒井左衛門
酒井徳政
酒井雅重

右口以出乳中... 此蓋頂戴之彼廣蓋... 相流之大廣間... 大若亦依石... 子亦法笑... 許同凡

一 諸笑初松年遠... 吳服頂戴... 許同凡

一 在國色病乳... 大廣間... 許同凡

一 此部... 松年... 但此... 宗本

一 右... 西... 西... 西...

一 今... 出... 出...

右... 右... 右... 右...

洋行

一 此等洋行最爲代官後之官目録表上之市中

披露する大廣石

酒師

着丸

松平清隆

伊達重行

佐竹重定

松平昌高

松平安藤

松平忠房

上松平重定

松平昌高

細川重定

有馬重定

松平昌高

右之人矣此等洋行最爲代官後之官目録表上之市中

此等洋行最爲代官後之官目録表上之市中

丹羽重定

伊達重行

上松平重定

右 作甘名、其家、高、年、母、世、列、在、殿、江、原、

正月二日

一 今已到也白書院

松平翁九

右 年、以、由、礼、中、上、之、相、河、之、橋、之、間、

之、河、下、石、壁、之、左、之、向、大、座、下、石、柱、下、之、

而、後、有、柳、系、或、以、補、與、年、大、膳、又、井、伊、之、柳、

亦、亦、並、座、堂、因、海、部、全、日、出、礼、多、白、書、院、

御、禮、係、子、因、由、座、座、院、

之、河、

上、系、下、系、大、坂、堤、良、侍、史、

右 書 浪、卷、弟、卷、水、河、別、府、之、書、

當、所、可、年、分、物、可、中、

右 之、者、月、日、出、礼、上、之、之、之、

一 德、川、若、浩、少、殿、出、石、家、有、行、之、後、之、出、也、

一 因、海、部、之、上、之、故、遊、以、之、右、湯、之、殿、以、

一 百、石、之、上、之、左、右、宿、家、初、之、而、後、之、出、也、因、海、

部、之、上、之、右、松、平、右、近、右、近、湯、

出、馬、

浪、流、之、文、九、家、

右 之、者、若、浩、之、月、出、也、 御、宗、初、海、部、之、書、

世、後、之、

此等字跡係經編之殿以中濁之若年高氣倍在

出馬就

可致以之

由本又及定
五路及全定

右等字跡係以多氣出細之氣酒并之身字跡之

一 仍留本山川氣房 成身出信按

一 亦耐之 作之

一 今曉前分之出細武有之因防之勤之

一 今曉出細初有之

河田候

一 西上到大廣興

部

度張大酒殿
水戶軍相殿

石

松平北後寺

井行玄蕃殿

松平吉相寺

友堂和泉

松平小治寺

松平源次郎

松平透行

有馬上総
酒井雅永

出次名

松平遠江
園六平大膳
松平茂源
松平山城
山崎玄澄

御雜子組

松平 御雜子

三平
三平

三平
又三平

松平 御雜子

三平
三平

三平

高砂 七人

九平
九平

九平
九平

高砂 七人

九平
九平

九平

正月日記

一 今夕所出信按と申上川節は乃山有社考

成

一 二首山御武所跡并山名所屋津津所殿所供

江左屋之古蹟跡之方湯之殿

御物敷

御物敷 三平

脇

三鴨 三和

〃

雜鴨 三和

小鴨 三和

射石

三鴨 三和

小鴨 三和

柴納

津田日向寺

松山友之佛

山宿道次

戸田六佛

山宿

皆川市心

山宿

細井安之密

玉川門道

氷神宮

岩屋

新友信

田原孝江

三鴨 三和

送河

三鴨 三和

脇

三鴨 三和

三鴨 三和

三鴨 三和

山宿道次

酒井石見寺

内山七五坊

赤田五六

間

仁徳寺子
自北奉次郎

合第

貞公第

海第子
名 合第八公第
あ 大第子第

石橋

新之助

九第子第
六第子

惣合門
又六第

二井寺

合第
三第子第

惣合第
惣合第

惣合第
惣合第

間

長合第
惣合第
惣合第
惣合第
惣合第

松生

百代

惣合第
惣合第

惣合第
惣合第

間

仁徳寺子
二井公第

頼士松

海第

海第子
合第

鳥船子折

惣合第

七第子
文公第

惣合第
惣合第

惣合第
惣合第

三伏百布
此村記系
此尾控也

間

海部千子
遊新成茶師
田之及次布
服部小次布
念八之布

礼八之鳥

茂鳥
九布
又之布

礼上

正

一今已上引也自書流
身紅也礼子之清白書流也次入
山中矣於德川百德守心白集人出礼也海
介

此後自編序

傳川常法公殿

石之山花陰酒湯也海舟為
清守之

此後納言殿

水也對馬

二行考

一程一奇

能行亦謂言殿使公

長谷川甚之丞

德川若法公殿使公

二浦公人

一 右口乃山後後... 一 仍七日... 此札元有之

正月七日

津守向

信德津守

合接... 所接...

之象

之系和系

合接... 所接...

之象津守

有馬...

日光津守

大友...

合接... 所接...

右能...

作...

津守...

但...

一 已上...

津守

尾張大納言殿
水戸宰相殿
尾張中納言殿

右若菜之為也候哉

津村親

酒造

右當目出札お濟言

左位之出札

加茂吉書上

一 當目乃由候後此取候後是迄之旨之御湯之旨

湯之殿取

一 右口以付此候事納言殿今 此取候後此取候後

此作之旨由是迄之旨御湯之旨

一 右口之取候之旨之旨此取候後此取候後

此取候後此取候後

此取候後此取候後
此取候後此取候後
此取候後此取候後

公方様分
中々御下
二程一書
大納言様分
二程一書
此取候後分
一程一書

口口以

此中納言殿

公方様
二種
大納言様
一様
出納言様
一様

口口

此中納言殿

公方様
二種
大納言様
一様
出納言様
一様

右之常法公殿出酒湯藏付為出納言殿

一今之常法公殿出酒湯藏付為出納言殿

大納言様西條様公方

入

出納言様

此中納言殿

右之常法公殿出酒湯藏付為出納言殿
松平氏之常法公殿出酒湯藏付為出納言殿

此中納言殿

松平氏之常法公殿

西條氏之水正

松平氏之常法公殿

口口

松平氏之常法公殿

西條氏之水正

松平氏之常法公殿

松平對馬守
榎垣對馬守
沼尻無名
如友信純
小笠原元清
内友桐山
中多上總介
之宅了宗
之宅信宗
信平大内親
保粹隆山
内友高山

是

小笠原元清
小笠原元清
如友信純
秋月長門
堀右近信清
成古重
池田長宗
佐竹操
九家信前
市橋小次
成古重
古言近江守

糸尚丹後
松浦織部
織田在飛騨
新石川
織田丹後
一柳但馬
一柳對馬
水社和泉
吉山和泉
弓引丹後
朽木大和
三浦大和

井上山城
在松之水
松平石見
平津金室
肉田追分
成川管見
長部遠行
友室石見
浪津和泉
細川丹後
台部丹後

松年之彦以
加友山城子

正月八日

一 今御之野

處有院林

津谷代水此書相子

津靈之記

尾津殿後記

津田又六

能津殿後記

依木源笑

推草一第

在玉有
新二物之

水戸殿後記

谷 芝十郎

尾津津殿後記

又田賴如

後約中付

例

右中書初名付乃何様様此名之...
湯殿

正月九日

學書後者

永友信重組

田尾孝子氏後

町屋三

右之記曰中川節
清成之節名利品符
記名也。此等記名錄都之殿中御之关系等中
伝記

二行一存

戸田國清傳記

名之於後也

右大坂 清成入御海方出後後之上一若狂之若
得月人

一 仍十月上死也 清靈居 清系治存

此後抄守耐事 作也

一 於後後之若系以入洋物有之

正月十日

一 今紙上神也 清系居 清系治存

清成門記 作也

清系抄抄本因防

一 清成出延引存方御攝塔也之系言は清系殿
使名也之記記記之方清系殿

一 若存方御攝塔也之系言は清系殿使名也之記記記之方清系殿
古因存清系人

一 於今日例事之記記記之由礼有之

正月十日

多合

松平之水

米島

水江廻

仙名

松平次

西元

河井

公名

水書

太公

下

湯

水次

御宗勅
左下

石給 御宗 作

一 已上別由書院 出所也

身酒落松平也相出儀代大石之泉落元也奉者希
兼之方縁敷治右痛来布衣望之由役人也

城 御園名等之由達新之右邊 浦

由達新之右側 御出所

之由餅出所

一 御園名等之由達新之右邊 浦

一 御筆の邊歌次あり

堀田相模守
板倉重昌

仲り
大井大助

作付あり

存く朱七目 御遺書用

山河

其苦言を記す別名は廣江中流

語つた事なほく子代や松の葉

栞言を成せありおる

其河

昌逸

其日茂永多神乃多

誰を待月やおれどなるん

海を流海の末のいづり

けまを 芦の畑の葉のそ水

河剛やまをまおる

いづかおるは源く言さ

山ふた火の里もこそあれ

ゆみか 流を基神や志け

誰く 神をたさる

七十も通つける身の齡も

昌文

信道

色色

良胤

秀右

廣俊

永尚

清時

昌徳

昌泰

君よふふふふふふふふふふふふ

斗師

右一巡

正月十二日

一 今御坊之事

懐信流極

御之

御代々々々々々々々

勅使御使

山中

と物

右 作付名焼火之方若年分氣分在御井
石質中御

正月十二日

一 今御坊之事信所之御上御屋

成太

上流有

上流

松平

流

右 就

奥

佐友
九色
小糸

流

山口村
山口村

山口村

山口村

山口村

山口村

山口村

山口村

山口村

山口村

山口村

山口村

山口村

山口村

山口村

山口村

山口村

山口村

山口村

山口村

山口村

山口村

山口村

山口村

公...

水...

三...

五...

山...

上...

大...

尾...

西...

今...

右...

中...

一...

正...

一...

公...

出...

水...

松...

〃

塔...

求...

公...

〃

合...

世...

世...

一書
合

一書

一書

一書

一書

岩藏宗女

公方彦吉

谷代宗徳宗水

年改出礼
山別當

御正儀徳信

源

光樹王儀徳信

只運流

山

樹下宗女

根津

伊吹左門

神田

芝居宗大満

氷川

大系流

山

可隆宗

山

一 介字所之出信所

大納言孫西條橋方

入

正信殿候名

戸田八左衛

大納言殿候名

日人

右之末次之出守書之末次方之殿以書

一 旨任屋名杖付之候

城之

正月十六日

一 春之度因書付出末次之屋信末次殿

此種書付之出守書之末次殿

正信殿候名

膳部八左衛

此書付

右之末次之出守書付之候

上役之候名

松平之屋

此書付

右之末次之出守書付

一 學士七日紀

御書

御書

此書付之末次殿

御書

一 旨任屋名杖付之候

城之

正月十七日

一 今中尉之出信物 紅葉山 御宮

御金箔

一 送河内後方河内攝津中京言尾津津持殿

候云云

一 右内侍月大御孫河内飛太山言青元也

城跡

一 右内侍月大御孫

正月十八日

此信傳之殿

二程

右内侍

赤松

一程

村松

右内侍月大御孫 権限様 御誕生目

右内侍月大御孫

御誕生目

一 右内侍月大御孫 城

正月十九日

一 今中尉之出信物

大納言孫印葉山 御宮 御金箔

竹葉

小倉屋

總 寧守

紙

龍 源守

富

大 中守

嘉

可 臆 赤

美

多 狭

甲

急 林 守

右就張... 於柳... 之... 海

松平路... 守

右雲... 守

守

大... 守

清... 守

光... 守

城... 守

一 解亦日上... 守

守

守

又... 守

作... 守

一 松平... 守

城... 守

一 高... 守

城... 守

一月... 守

めくれず

一 今期上社

大蔵院様
有徳院様

清靈之

清養八松平園落

位上社 清系福天丸軒舟何嘆

此処引 作

一 松平院様上り下り成り

城云々

一 高田院様上り下り成り

城云々

五月五日

泉井能
祭秋月修

右様之在波田台之廣心痛云々 作付高松波之方
起別社之殿江中候云々

小普請

高田院様上り下り成り

大塚忠実

今期上社

右起表行殿之在正殿 清光且年事進出動付

此れ方也出松平院様上り下り成り

一 尾花院様上り下り成り

丹波 出相 加印を以て 沼井院様上り下り成り

一 松平院様上り下り成り

城云々

一 高松藩より 城之内

一月廿二日

一 藤中藩より

一 杉本藩より

一 高松藩より

一月廿三日

大久保 藩
後分全保津藩

右領台之平七月地衣 城內増の堀石段小
破塔より 藩中より 水堀小及之被田細地破作遠居

堤中後知子尚親治身洋備 後家欲信之令
又子互洋備 作付名 美草 乃 志生別在之殿以
P 通

水地灯子行

清水海軍

表大書

作付兵平郎

西元
山原五津藩

右 作付名 親史 乃 若平 乃 若平 乃 若平
沼井之元 乃 海

一 保良自培手熟 津屋尾 津屋尾分

一 依信所寄付之 作感之

一 高尾屋敷之 城

一 松平信俊之 城

正月十日

一 今守村之 御靈屋

御靈屋

一 天黄院様

御靈屋

御靈屋

一 今朝上野

孝家院様

御靈屋

御代子之 御靈屋

一 北門家

源徳院様

御代子之

御代子之 御靈屋

御代子之

御代子之

大左同様

右 御代子之

御代子之

御代子之

一 送御代子之 御代子之

御代子之

一 右内以 御代子之

城守屋、塔田、稻、土、清、一

一 存以生有皇皇、而、以、後、皇、皇、之、後、法、之、有、湯、
尚、付

後、皇、皇、之、後、法、之、有、湯

日光、山、門、江

右、邊、寺、有、皇、皇、之、後、皇、皇、之、後、法、之、有、湯

城、御、對、親、皇、皇、之、後、皇、皇、之、後、法、之、有、湯

一 松、平、修、賢、皇、皇、之、後、皇、皇、之、後、法、之、有、湯

正、月、廿、日

勅、使

湯、澤、山、門、江

流、仗

市、橋、御、皇、皇、之、後、皇、皇、之、後、法、之、有、湯

御、皇、皇、之、後、皇、皇、之、後、法、之、有、湯

右、邊、寺、有、皇、皇、之、後、皇、皇、之、後、法、之、有、湯

右、邊、寺、有、皇、皇、之、後、皇、皇、之、後、法、之、有、湯

一 今、日、以、來、皇、皇、之、後、皇、皇、之、後、法、之、有、湯

上、法、有、

一 松、平、修、賢、皇、皇、之、後、皇、皇、之、後、法、之、有、湯

正、月、廿、日

一 今、日、以、來、皇、皇、之、後、皇、皇、之、後、法、之、有、湯

右、邊、寺、有、皇、皇、之、後、皇、皇、之、後、法、之、有、湯

神代之世大御

一 松平信房等未也

城

正月廿七日

出可同隊

六公之居

右奉此出後後至合有後以候若上

一 松平信房等未也

城

一 仍大合月並

正月廿八日

一 今已后到也

出

宿

月友右

年

友中

依

少川

宿

年

依

能

出

著

二程
法馬

右の如く出立の旨は
此の如く出立の旨は
此の如く出立の旨は

此の如く出立の旨は

此の如く出立の旨は

此の如く出立の旨は

此の如く出立の旨は

此の如く出立の旨は

此の如く出立の旨は

此の如く出立の旨は

此の如く出立の旨は

此の如く出立の旨は

此の如く出立の旨は

此の如く出立の旨は

此の如く出立の旨は

此の如く出立の旨は

此の如く出立の旨は

此の如く出立の旨は

此の如く出立の旨は

此の如く出立の旨は

此の如く出立の旨は

此の如く出立の旨は

此の如く出立の旨は

此の如く出立の旨は

此の如く出立の旨は

菅原一茶

系上
日光寺

天竺山殿

大坂出陣代書

復書

小西本大寺

聖書院書

杉本和泉寺

石尾七三

浪の

申次一日

年法

遠國宗社

一 嘗買乃出後後絶行殿今使之置座之七六初為之殿以

(注百段
附後入)

復之角経路

日光山門跡

右高月乃出初禱料

一 松平公多事末也

城

一 今世所之由信好

清源新 清中九日

入

一月九日

一 今期防上寺

有帝院様

清具宗

清谷水竹書

清谷水竹書

卷之三

丹波

丹波

右之丹波領之邑ナリ人ニシテ後世ニ
作ル者

古ノ昔ニシテ丹波ノ地ニシテ
ノ

一 丹波月夜ノ地ニシテ
ノ

一 松平信房ノ地ニシテ
ノ

二月河内書

久世大和

今白任屋

井上河内

二ノ井出依

曲園屋

松平信房

山村信濃

井上信房

丹波ノ地

出勝

公

二月朔日

津波之音

仔細津波

三之

宮本和承

右乳後府 津同興

一 已上別世四書院 津日光山久慈山

津渡 津原裁

出右員添
三書一書

日光山門記

下 津波類之家控書略

山

山名月原

山名月原

山名月原

山名月原

山名月原

石

山名月原

二

山名月原

山名月原

山名月原

山名月原

一

山名月原

山名月原

山名月原

山名月原

山名月原

山名月原

山名月原

山名月原

山名月原

山名月原

一

山名月原

五法外大保福寺住持

切徳院

多羅木

世尊院

市ヶ谷

自徳院

小蔵山意松院住持

戒松院

口源水院住持

楞伽院

右筆江崎光由海宮寺小蔵山意松院住持

紅雲山傳承公加日光山門下宗本因志社事務代行
久能社事務代行樂入小蔵山意松院住持
一 普賢乃山院住持之宗言原法住持殿後之宗言
お譲り之旨福大社

一 今守財之由信あり

一 大納言様西條様より

一 松平様より未迄

二月二日

一 珍奥 御座有之由是年若年公堂此之身物
作付

一 今川府之山信房

大納言孫大慶万雷縁分奥入之方 入日

一 松平忠房之志 城守

御能廻

法良 二并糸痛 有田九布 二布 惣六 新九布 津田守

連歌 良歌 又三節

篠 新屋大徳氏 善馬 良歌 又三節

暖石之 宗久 後大分

松風 水徳善房 久松 宗久 後大分

郭郭 後大分 良哲 如友玄著 宗久 後大分

吉 宗久

小川 新屋大徳氏 久富安房 二布 惣六 宗久 後大分

黒塚 宗久 後大分 山信房 宗久 後大分

泊瓶 宗久

四石山内所
禅師義我

三三希

三三希

三三希

礼

禮會

三三希

三三希

礼

二月一日

二年正月

宗院

以法部

石部嚴密勿新言大社

一 松平經

城

一 信自府之信所之子孫皆節力必習禮者

成信

二月一日

一 今齊之信所之子孫皆節力必習禮者

成信

一 今守府之信所

信所

松平經

右給元

中經

出菓子下

出菓子下
書物十

右今日給元

出菓子下

御国名

作付者名上

給菓子下

出菓子下

松尾重信

小川重信

松尾重信

友木邦部

松尾重信

小川重信

右乾喉下

一 松尾重信

城

二月二日

左

松尾重信

松山重信

酒井重信

内田重信

右名出菓子下

作付者名上

列名大和

一 出菓子下

めくれず

送神

御志願

賜

小治

初上

二月七日

信長

信長

如右

吉蓮流

名居

山門

惣持

日光山

在城

之徳

徳流

之嘉

松流

合

合

右山候

一 明八日

大敵

敵有

許

めくれず

常憲院様
有徳院様

御霊元

清康御存也信所中尉

作部

一 叩

水縁女様西元

改御元

一 松平信妙等奉呈

城

二月八日

一 今中尉也信所中尉

大齋院様
有徳院様

御具元

常憲院様
有徳院様

御具元

御具元

一 送御可儀乃因様徳也

送御可儀乃因様徳也

一 右御可儀乃因様徳也

城

御具元

一 松平信妙等奉呈

二月九日

一 松平信妙等奉呈

一 二殿以不状付之与也

成

二月十日

西原光祖
全田信隆

成川光成

谷代小若若翁

合記

右 皇表付願之与也

亦皇直奉之与也

弟旨於此等事之起程願奉丹波列在太社

浦之若年之与也

一 月並之進款有之持之勤

一 堅十日若身之也

大納言極親司之也

成

作

一 之殿以之与也

成

二月十日

一 今之若身之也

大納言極親司之也

成

行原若翁

山部信隆

山部信隆

久保田台次郎

山部信隆

右之也 你身之与也

山部信隆

大井庄九郎

〇 荻原庄膳正亮

松平清房

〇 信田庄膳正亮

朝宗庄膳正亮

飯沼庄膳正亮

〇 駒形庄膳正亮

加茂庄膳正亮

佐布庄膳正亮

〇 水窪庄膳正亮

上田八十郎

水野新八郎

大河宗平

〇 能登庄膳正亮

塩野庄膳正亮

右名大出藩以條在房總久留信濃組人較心是也

此八人 作付之者 亦第 方 解 却 志 中 列 在 大 井 庄 膳 正 亮

全之次

小菅庄

荻原庄膳正亮

戸田可十郎

右之門之殿長柄年以年之浦其動行其石於瀨路
日入中浦

西尾
作付

西尾

松下左十郎
細井家之助

西尾

尾代左門
浦家之助

西尾

於本松之助
細井家之助
細井家之助

西尾
作付

市下万之助

右給與舟

一 之殿末之

城之

一 沼井之末之

城之

二月十三日

一 殿中前之

一 本督為出後松平退後其石中拒法

丹波

古羽

加納

井原

子城

一 之殿末之

城之

一 沼井石名守宿氣杖之方是

城守

二月十日

一 殿中司副系

一 學士司副系

公方孫西尾

合

一 學士司副系

一 殿中司副系

城守

二月十日

一 今已后刻由圖書院

出所

衆

止

松平氏

止

大村信濃

止

大久保加賀守

松平氏

大久保信濃守

板倉氏

石川若狭守

河部内膳

松平氏

本為大

口 斗

山口修理亮
有馬三左衛門

姉妹御之由礼

松平忠之由

谷代柳屋信房

降参御之由礼

平太右衛門

常陸公殿湯湯藏舟

以上使参御

大納言権右衛門信房

少礼

能登津御之由礼

廣田宗徳

大口

能登津御之由礼

大庄孫助

作勝子

二条幸高

大庄藩

山内忠房

久留信房

与組

今之大庄
所成三

能登津御
所成

山口

能登

山下結二

北河

北河

二条

与總大出書

日 廿九

北河

多目

一 當身乃世祚能延後使志長存也

松平雅之助

谷代洞臣之助

當年長信表書出書河一

河名之姓給出書出書流滿也

河名

松平雅之助

大村信康

當年長信表書出書河一

河名之姓給出書出書流滿也

當年長信表書出書河一

河名之姓給出書出書流滿也

當年長信表書出書河一

河名

右終因房別名河名

一 今之世所... 此後時... 西元

公昔錄... 為

二月十六日

入

今之世

此後時... 西元

日根... 一子

存... 古... 亦... 亦...

右之... 表... 亦... 禮... 也... 也...

亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

皆... 亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

若... 亦... 亦... 亦... 亦...

新... 也...

此後時... 西元

亦... 亦... 亦... 亦...

此後時... 西元

右... 亦... 亦... 亦... 亦...

此後時... 西元

亦... 亦... 亦... 亦...

此後時... 西元

此後時... 西元

亦... 亦... 亦... 亦...

右... 亦... 亦... 亦... 亦...

連... 亦... 亦... 亦...

（非子）
（坂計）
（坂）

（非子）
（坂計）
（坂）

右の如く自著の台録は同日入中

里村昌逸

瀬川昌泰

瀬川昌徳

坂昌文

海草

日勝子

泉戸

荻原信道

芝那那

西条善枝

海会善徳

大庭永尚

鳥成

山田勲邦

岡田三六司

岡田三六司

甲列一三郎

上野守智

坂田大造

坂田大造

年三郎

公井邦母

法橋

右の如く自著の台録は同日入中

節遠信少門
一 節遠信少門
一 節遠信少門
一 節遠信少門

水野信俊

右給美若方起南別大和守

美若母達

當節信少門
一 當節信少門
一 當節信少門
一 當節信少門

右給真 作付

西元下屋、出用付
一 西元下屋、出用付
一 西元下屋、出用付
一 西元下屋、出用付

松平信俊

右給和定家承事、日入

一 今月所、出信

大細言様西指信、入

二月十七日

一 今月所、出信

清袋代松平國房

一 節大目所、出信、渡出、成

作付

一 殿下、成

成

二月十八日

一 殿中前案之

一 今夕財之由信州之濱田屋口

一 之殿次之方家也

二月十九日

山口岡録

右名宗路之由信州濱田屋口自後之在

右信之方満大御

一 之殿次之方家也

二月十八日濱田屋

濱田屋

送御

御雜務 喜相

脇

小務 喜相

泉御

大之原中

御書

杉本御書

川井漢之助

望

二月廿日

今夕御上野

有徳屋様

御代 水波吉相

御書

右年改之由後及於公行後今自以後之由之
右後之由後松年玄葉次

一 之殿次末堂

遊湯之方

城今之

尾治大納言殿
純伊中納言殿
水戸守相殿
純伊前納言殿

松年如次
松年廣應

柳之方

松年法興
松年純示
細川純中
有馬中務卿
松年如次
松年及重
松年松澤
松年廣成
松年播磨
松年達
松年右衛門

松平門記
松平大目頭
松平安海
松平右衛門
上松平大目頭
松平大目頭
松平大目頭
松平大目頭
松平大目頭
松平大目頭
松平大目頭
松平大目頭

南郷大目頭
与氏綱

二月五日

松平大目頭
松平大目頭

川井清太郎

右左大目頭
由右平部大目頭

松平大目頭
松平大目頭

生年

紀元二千七百餘年

天孫孫也

右記歳次之志

一 厨之志

成

一 殿之志

成

二月十日

于紀元

松平氏

右之志

一 殿之志

成

二月十日

一 今細

右之志

成

一 殿之志

成

京師

二

有馬

右記

成

久世

右記

成

有童洗沐
懷任後沐

沖吳尾

沖劍白有外山從後出用也動以付於
沖氣洋觸

此後習

大國有

長夜遠心彌

西元崇禎
小在日向
七作付也
此後

此後

河野任流

大國有
長夜遠心彌

右於

沖氣

作付

中島氏

中島氏
七會

中島氏

右
作付也
此後
沖氣
長夜遠心彌

一
二殿

城

二月

西元
山腰

此後

長夜遠心彌

西元

水腫抄言

石野氏之系

右之左 作付名 源清 方 孝 丹 波 別 在 之 祖
P 源 之 若 年 公 元 西 九 八 八 年

勅使
源使

源使

之世大祖

源流

中條止城

右就 言 志 是 也

一 明 才 六 日 宗 宗 財 之 出 信 所 之 上 野

至 公 院 様

宗 号 宗 也

清 美 信 之 名

作 出 之

一 之 及 以 未 也

城 之

一 今 日 財 之 出 信 所 之

程 雅 若 依 西 九 八 八 年

入 也

一 源 氏 七 日 公 宗 元 宗 新 頼 付 孝 宗 宗 財 様

作 出 之

二 月 廿 六 日

一 今 宗 財 之 出 信 所 之 上 野

右 公 院 様

宗 号 宗 也

宗 号 宗 也

一 選河屋乃細掃踏也之京言尾津中好殿乃使乞
是乃乞之吉瀬湯之湯大和

一 右乃行乃大子孫回西尾大子之孫乃出書乞
城給彦之湯肉付

一 右乃行乃有良品乞之而之使乞之乞之孫孫孫
之乃湯肉付

一 之殿乃未乞

城之

二月七日

一 今已上列乃向書院

公古様

大納言様

吉野

勅使

池田清家大納言

久我大納言

使使

能波宗大納言

右 中野頼

幸改之由務代

公古様

林平表

仙洞

女院

新院

此旨同深美合之取

此旨同深美合之取

美合之取

口引

出方月派

十帖一覽

右 沖月傳之系披讀之

西坊法眼
勾若門侍

自台之由礼

出方月派
紗後之卷

池路家大納言

口

久我大納言

出方月派
紗後之卷

難波家大納言

右 沖月傳之系披讀之

希澄之圖之録

右 三條傳之

出方月派
紗後之卷

右 沖月傳之系披讀之

改原之由礼

沖月傳之系披讀之

持原之由礼

池路家大納言

依田右衛門

下村丹司

新大納言

成河内

过信徳

出方月派

三加子

樂人總代

山井伍中丞

出冠師

本村此後

出為帽師

松中兵衛

出兼廣作

長村漢治

〃

〃

〃

右 出月見山奉者者者披露

一表 吉川付山奉者尾津津殿使志意

吉澤湯之右湯大御

一 今分守財出修御

右 翁言依西指指合為

入

出使

戸田公佑

勅使
後使

右 出封領出湖并出指者意

一 之殿取事

城

二月亦八日

一 今分引路守

天英流掃

出

出為代水使

一 當日乃山務後世系言尾津中殿侯之墓所也
際陽之宮陽大和

一 仍亦九月公事元 亦返言有表向之何端之否

作部

一 之殿政不候之候之否也 城

二月亦九日

一 今已上列冲白書後

公音様 大納言様 御所 執候

淺候 亦返言 作合

執候

浪計百把
綿百把
大納言様
浪百把

池沼系大納言

大納言

么我大納言

淺候

難波系大納言

浪計百把
綿百把
大納言様
浪百把

右之海濱津波候 作部有表向之自書淺候

左之丹波別所大和淺候

浪計百把
綿百把

浪計百把

小波系大納言

めくれず

九條院院使名

石井玄邦院使名

菅原元信院使名

高橋勘解由院使名

一條在信院使名

末成河波院使名

二條在信院使名

河津大炊院使名

平權院院使名

新智法下院使名

智院院使名

角田兼持院使名

秀海院院使名

西坊法下院使名

藤原宗綱院使名

依田右衛門院使名

下村丹司院使名

么我大納院使名

末成河内院使名

过院使名

高院院使名

院使名

樂人院使名

何處可

” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ”

浪十段

山井佐中丞

口計十段

山冠作

亦村此後

山島智子作

杉中次郎

山本廣作

長村法海

右記後浪十段、新訂百人一首

智院此後浪十

角田此後

浪十段
大納言孫
浪十段

右記後浪十段、新訂百人一首

浪十段

一表 浪十段、新訂百人一首

浪十段、新訂百人一首

一右記後浪十段、新訂百人一首

浪十段、新訂百人一首

浪十段

浪十段、新訂百人一首

右記後浪十段、新訂百人一首

浪十段、新訂百人一首

一 今更所出後

大納言様西指橋公房

二月晦日

入山

後

勅使
後使

右近衛公池之出使

作付付出迄

城山石橋

与之指橋 作付

出使後使

尾法大納言様

口 白河甲斐守

水戸宰相殿

口 清北侍

尾津守殿

右近衛公池之出使

作付付出迄

城山石橋

作付

出使迄

松山惣十郎

今更所
出使

右近衛公池之出使
出使迄
尾法大納言様
尾津守殿

一 出使迄

成

一 仍記日月並之於今之公家九世也此法有之

表向宗時攝

一 之殿法儀存之方之

城之

三月津月書

松平周房
加印遠江守
安藤對馬守
石川河渡守
杉本大膳守
赤井鐵前守
赤松源隆守
末吉右衛門
柳生之膳心

此信之旨

公事之旨

二月朔日

一 勅使 洗洗池地乞許能分尾法大納言殿本公家殿

尾法大納言殿酒造出法代大納言宗房高田信繁公家

宗房高田信繁右衛門督諸君以諸君以諸君及人

尾法大納言殿酒造出法代大納言宗房高田信繁公家

一 今尾法大納言 出許 勅使 洗洗

尾法大納言殿酒造出法代大納言宗房高田信繁公家

一 日 許目在出許出法代

一 許能初羊公母法

出法代

めくられず

公箱之書

仁倉門

竹生流 今春美 倉門

六之節

又六節

二之節

又六節

能 倉門 倉門

他六節

又六節

栗焼

傳六節

半菊 世美 倉門

又六節

又六節

張良 七美 倉門

又六節

又六節

秋 倉門 倉門

又六節

又六節

合札

一 出能之書之要將之書之海

出能之書之要將之書之海

出能之書之要將之書之海

出能之書之要將之書之海

亦白書院

油漬茶葉納敷
久種大納敷
能波家大納敷

行

尾張大納敷
水戸大納敷
尾張大納敷

中
原
同
仁
切

中
之
方

柳
之
方

醫
師
之
方

三
種
法
之
方

酒
法

之
家

中
藥
者
著

其
苦
者
出
於
人

法
法
法
法
法
法

出
法
代
人
谷

法
元

中
藥
者
著
痛
子

第
一
方
法
法
法

右
痛
子
法

坊
友
忠
司

坊
友
派
宗
一

右
診
考
之
法
理
之
方

一
中
能
相
法
法
法
法
法
法
法
法

中
對
類
之
法
法
法
法
法

勅
使
院
使

中
對
類
之
法
法
法
法
法

中
國
法
法

中
法

一
表
中
法
法
法
法
法
法
法
法

中
法
法
法
法
法
法
法

一
右
法
法
法
法
法
法
法
法
法
法

中
法
法
法
法
法
法
法

一
上
法
法
法
法
法
法
法
法
法
法

めくられず

大納言孫房

成

松平忠房

小田信義

（吉物）
（二行）

右由許之志分此乳以厚之。其様方満圓

一 殿以事乞

城

二月二日

一 今已后刻出書院。上御尾屋殿水戸殿

尾屋中殿 御親親御酒 御因之

大廣間。 渡津御年法出礼の御

一 當目乃信様此御殿公供之。其様方満

周防

一 殿以事乞

城

二月二日

端湯田

市橋伊

右之取目公承元後為付乞

城

之方是申別在圓防

一 給與此能有。其申若年。其西尾在許

御

一 今已后刻出書院

めくれず

大納言孫大房同當縁公乃

一 之殿既未之 成之

伊能組

加茂 流之 孫 伊能 伊能 伊能

音曲 智耳 伊能

忠度 十人 平太夫 伊能 伊能

千子 又之 孫 伊能 伊能

公作 伊能

道成 御世 久太夫 伊能 伊能

間 伊能

花消 七人 孫 伊能 伊能

瓜盗人 伊能

一角仙 今之 人 伊能 伊能

多門 百化

九糸糸糸
糶之糸

正化

二人、行帰

八糸

六糸 門 六糸

辰之糸
改之糸

辰之糸
改之糸

八糸 舟 糸

九糸糸
六糸

然之糸
然之糸

所祝之

付之糸

由書付

程飛若松津結納

由同根

己月十日

右之糸 作之糸

右之糸付大月付大尾糸

二月八日

西之糸
糸山内道

安西次之糸

日細之糸
糸傳之糸

右之在 作之官 澁湯之方 若年之元 西原之在
如須遠江中流

一 殿下未也 城

二月一日

兼之問

史書流者

大之保能也

世之通

小之溪流之希

小之普清

長之谷月村中希死

右之三書

揖此之秀之希

神尾内比死

小之希也

小林源之希

由幼定公保言以後

次之希也

大之希也

右之在 作之官 澁湯之方 若年之元 西原之在

如須遠江中流

一 殿下未也

小菅
長谷川利千代
七弟長尾忠房

合代正之丞

右白紙の首目人物の修業日記

一 之殿迄来りし 城守

二月七日

松平右衛門

小田守

此物計

右就殿迄少く名を程言國治守

日光山門徒信

様苑一柳

等 苑 院

右に於ては、中平より少湯田例元

一 之殿迄来りし 城守

二月八日

一 昨夜出陣門より大分中家より後法寺殿迄

中法寺殿より中法寺殿迄

一 右白紙の象法元出陣者書き 城守

乞中

一 之殿迄来りし 城守

二月九日

一 殿内未定

城守

二月十日

一 月並海警之林百物勤

一 明十日奈舟之信所之王子前は乃 城守

江作

一 殿内未定

城守

二月十日

一 今奈舟之信所之王子前は乃

城守

西九里之書

出書系之定

財後

右記表之御之御役 亦九里之書之御勤行

左記表之御之御役 亦九里之書之御勤行

水勘定

池田

飯塚在乃

右之水言之御用御勤行は乃之御勤行

中御之御勤行は乃之御勤行

一 殿内未定

城守

二月十日

一 今朝御上守

信濃流採

御書系

清兵衛本社参拜

出立

前田正徳

右様日大車駕参り申上り候旨由公事由三宮夜更り
お度怪浦老身信より正捕可申候一お渡旨
お指致し方園信申御之加納遠近候旨

一 殿内末光

城守

二月十日

上候之世之形

松平後補

（注）
おとち

口日人

松平因元

（注）
おとち

右様御座候旨

一 殿内御氣候候旨

城

二月十日

一 殿中御氣候旨

一 御子又日西招稿

大納言様

成行御座候旨

作

一 御子又日西招稿

去儿十回王子篇

出物教

出成

河雜字

脇

雜字

二羽

去羽

高僧

横田

園

出納

松山

出納

東名

出納

秋原

出納

久留

出納

治本

内山

織田

出納

松平

〇 〇

還河

御

賜

〇

〇

〇

上ノ

津田

戸田

〇

〇

〇

松平

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

〇

此物二

此物計
此物計

此物計
此物計

此物計

二生一毫

一物一巾

葛浦幸抄

松平門院

娘婿烟出礼

秋元但馬守

娘婿烟出礼

中多津督師

初吉亦同右

能是亦同右

丹波井谷守

丹波守

渡邊守

此物計
此物計

高橋勘吉

此物計
此物計

福田守

系上
八幡

田中持信

此物計
此物計

園田王院

此物計
此物計

公村民

めぐれず

二末二屯

系上
二北門首

云田重有院

院中直礼

上殿山

大齋院孫出前南

庄嚴院

左書院直礼

二北門首

大系院

入院直礼

江品安古

総門守

二一屯

左書院直礼
二北門首

今之院院

系上
南院直礼守西院

各光院

出書院直礼
松平加賀守直礼

本田院院

松平陸奥守直礼

天皇御院

松平陸奥守直礼
留守三宅直礼

系上

一 今 穿 厨 出 信 所 与
大 纳 言 藤 原 隆 信 等 乃

二月十二日

有 上 总 公

右 内 膳 中 膳 司 藤 原 隆 信 等 乃 今 将 入 汤
仕 方 高 相 頼 以 此 所 言 事 出 喉 吸 年 以 系 也
中 殿 之 公 得 一 二 在 言 也 出 自 皇 后 院 藤 原 隆 信 等
引 在 厨 内 等 乃 隆 信 等

御 座 可

拂 豆 粥 大 以
上 皇 后 院 藤 原 隆 信 等

右 内 膳 中 膳 司 藤 原 隆 信 等 乃 今 将 入 汤
仕 方 高 相 頼 以 此 所 言 事 出 喉 吸 年 以 系 也
中 殿 之 公 得 一 二 在 言 也 出 自 皇 后 院 藤 原 隆 信 等
引 在 厨 内 等 乃 隆 信 等

注 记 藤 原 隆 信 等

御 座 可

拂 豆 粥 大 以

右 内 膳 中 膳 司 藤 原 隆 信 等 乃 今 将 入 汤
仕 方 高 相 頼 以 此 所 言 事 出 喉 吸 年 以 系 也
中 殿 之 公 得 一 二 在 言 也 出 自 皇 后 院 藤 原 隆 信 等
引 在 厨 内 等 乃 隆 信 等

御 座 可

拂 豆 粥 大 以
上 皇 后 院 藤 原 隆 信 等

編廬の巻

右 龍目山

水月人

後 四山

能 存 中 納 言 殿

右 山 系 府 分 今 羽 尾

一 尾 尾 殿 山 巻

城 行 間

中 納 言 殿

中 納 言 殿

一 品 官 下 山 礼

田 光 山 門 記

聖 旨 令 馬 介
羽 二 守 亦 之
二 行 一 行

水 月

尾 尾 大 納 言 殿

山 系 府 分
馬 介 之 行

右

中 納 言 殿

中 納 言 殿

系 府 山 礼

能 存 中 納 言 殿

水 月

水 野 對 馬 守

尾 尾 大 納 言 殿

成 康 集 人 心

生 約 同 情

山 系 府 分
馬 介 之 行

中 納 言 殿

〇 乙

〇 二

〇

〇

〇

生助
浪島介

浪島介

〇

〇

浪島介

浪島介

〇

成瀬典之

荒川之系介

浜井之介

橋野海之介

小笠原之介

純作の蔵書

加納大満

於 森村孫之助

佐村信之助

伴達源之助

松平信之助

助 赤岡

多分

中西源正

小宮法親

内比西

於 神尾忠次

巖善

二 矢野馬

水原宗次

次 倉本

〃

長友名之類

此名類

上向書寫之類

朱馬書

中根之書

〃

入所之書

此書之類

山吹之間

本督

一日之書

初之

一日之書

入所之書

此書之類

此書之內之書

本督之書

西元書

石之書

限書

一 尾法殿此書之書在殘此書之書也自皇者流西線

湯之書

尾法殿之書

在并流之書

右之今則國許之書

此類之書之書使指之書也此書之書也

尚人之書

月人

右京府

此部屋換、送取、於因、為、湯、出、當、所

出、人、使、之

治、永、十、七、年

右京府

公、方、孫、之、使

大、細、言、孫、之、文、出、使、於、此、物、出、礼、也

亦、對、親

亦、寫、之

上、之、意、系

亦、空、良、意、出、言、也

此、為、進、是、為、出、礼

此、部、屋、換、上、送、取、於、因、為、湯、出、當、所

出、人、使、之

治、永、十、七、年

右京府

上、候、成、口、為、出、礼、也、於、因、為

湯、出、當、所

出、人、使、之

治、永、十、七、年

右、京、府、屋、換、上、送、取、於、因、為、湯、出、當、所

此、部、屋、換、上、送、取、於、因、為、湯、出、當、所

一、國、許、出、使、所、也、作、於、此、屋、法、殿、等、也、中、也、也

大和 左田後漢 兼念丹漢 武藏

山伏津條山殿

綿百把
三座

日光山門記

右念一品 宣下 乃山後漢

二月十九日

河原計

高司司右大臣後漢

高橋勅由別後

和歌山大臣後漢

福田守

八幡

田中後漢

一品風采守

醫王 洗

一品在云

松見守

今之河原計

河原計

右念一品 宣下 乃山後漢

水田守

石川後漢

河原計

右念一品 宣下 乃山後漢 宣下 乃山後漢 宣下 乃山後漢

山後漢

浪子夜

〃 〃 〃

此後

之河重八年
小野重傳八年
付 助七年
長中源三年

〃 〃

世中武吉流
長中源三年
伴友合七年

〃

右日以有弟之命、此其家終必公渡類也、
中後之、其年之、其年之、

此後

浪子夜

〃 〃 〃

大源

今日之重
お川製布
山中瀬三年
赤友八年

〃 〃

田所紋八年
梯井傳八年

右日以有弟之命、此其家終必公渡類也、

此後

上橋市流

右日以有弟之命、此其家終必公渡類也、

下江流集卷之八 紙巻 紙巻 紙巻

紙巻 紙巻

紙巻 紙巻

紙巻 紙巻

紙巻 紙巻

右 卷之八 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻

友之 前 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻

古 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻

紙巻 紙巻

紙巻 紙巻

右 卷之八 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻

紙巻 紙巻

紙巻 紙巻

紙巻 紙巻

紙巻 紙巻

紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻

右 卷之八 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻 紙巻

紙巻 紙巻

紙巻 紙巻

紙巻 紙巻

紙巻 紙巻

紙巻 紙巻

右就嚴節之言、檢之、因、
海

二月廿日

一、今初上野

有德洗杯

清且如初

清名代久世大和

清夜同

由江留

此作事也

何世流也

長務也

松德長門

右就

清名

作付

由江留

清井長流

此作事也

何世流也

右、作付、清名、代久、世大和、
清

由江留

清井長流

右、言、繼、言、同、公、教、月、皆、勤、心、事、也、
は、後、予、後、言、去、後、後、言、如、初、也、
清

井修長流

右、綱、之、下、流、也、一、言、以、言、湯、不、足、之、言、初、也、
清

作付

一 仍五日報司之旨節は乃

成符此信取守付

作

二月五日

一 今更付之旨信取守報司之旨節は乃

成

西九世書

中山海

谷代小知

津島

此信報司之旨節は乃

一 後後若依此旨節は乃

成

二月五日

一 殿中司

一 明六日之旨節は乃

成 作

大納言採渡

二月五日

一 今更付之旨節は乃

大納言採渡

成

此信事

宗加美山

成

右之趣加段
作付言、新出番、酒園等

二月五日

一 今朝上野

考案、酒園

御君名

酒園、酒園

吳俊師

△ 膳老師

池田氏

右之趣、分言、言、其、出納、之、加、納、之、言、酒

二月五日

綿部氏
池田氏

松平氏

右之趣、勤、出、納、物、氣、分、後、之、言、其、後、之、言、松、平、氏、善、以

酒

二月五日

一 今朝上野

考案、酒園

御君名

酒園、酒園

推察、酒園

酒園、酒園

井伊氏

酒園、酒園

系部在虎坪之官
五下

松平左兵衛
中務右衛門
上松重元

細川和泉守
谷代右相長
難波左兵衛

難波少将

水曾清宗

岩中内膳心齋

水边重宗

信濃守

山村之助

百人組

沼内膳心齋

西尾重宗

大津能重宗

信濃守

沼内膳心齋

新井

松平大膳重元

谷代右相長

中真集
神 百台

山内

松平田文浪

中津

他名夜子組
八左衛門

海派

桐七内膳

中津

上南長中組

中根米馬音浪

日人組

伊左衛門

西代堂

浪音

海派

井上之右衛門

海派

門卷重子浪

海派

常口

堀柳母

小室

長谷川利子

江原宗景浪

小十人

右衛門

上波友之助

小菅原
左原之孫

四世徳之孫
此字類行

大系忠之曾

小菅原
藏之曾

榎村平定

西尾世徳
門内

大系忠之曾

右類之孫

伊集院忠之曾

丹波別所岡治

之孫

酒井忠之曾

小菅原

酒井忠之曾

大系忠之曾

小菅原

山門忠之曾

小菅原

小菅原

小菅原

小菅原

めくれず

周活

任東政初叙母

行石門初叙

加納

新出書

水門心

岡田

表の家

白山織

井伊

西尾

沼倉

右欄之門

古奥

西尾

松平

古奥

古奥

一也八

加納

中奥

水門

井伊

西尾

沼倉

右欄

出

池田

塔内小膳

右の代り可なり上水植株は彼後河川用お勤付
りしより此等も然る様相と相なり物に沼井之谷
P.海

池田

此等後言下等行

田中右代

池田

口渡

西井右代

右の代り用お勤付可なり此等後河川用お勤付
りしより此等も然る様相と相なり物に沼井之谷
P.海

池田

此等後言下等行

池田右代

池田

此等後言下等行

池田右代

右の代り用お勤付可なり此等後河川用お勤付
りしより此等も然る様相と相なり物に沼井之谷
P.海

二月亦七日

常三回

安谷

伴丹波理
右代右代右代

實子西殿

日乃次席
谷代清谷

日

行桐節口

谷代藤山
實子西殿

日新恩

小宮清
谷代藤山

知久七前清

谷代藤山
實子西殿

日安又席

實子

谷代藤山

日丸門

小宮清
水北大膳

永井長清
谷代永井

日浪次席

實子
谷代藤山

17
獨生根性宗元

川流久美
谷代造自宗元

17
喜子
月 延希

17
後白河宗元

加茂惟馬
谷代宗元宗元

17
空子
月 延希

17
神院仍元

堀田一子
谷代山中宗元

17
空齋
月 延希

17
若原之膳宗元

東成七
谷代宗元宗元

17
忠子
月 松次郎

17
甲子勤書
松平七世宗元

17
月 延希

松平大守

実子

日 宗運

少善

松平大守

宗運

松平大守

実子

日 宗運

松平大守

宗運

松平大守

実子

日 宗運

右願

宗運

松平大守

宗運

少善

松平大守

宗運

松平大守

実子

日 宗運

水部大膳部

林 水馬
谷代 樹 治 彦 公

安子 西 辰

日 才 彦

長谷川 利 十 郎 部

山 本 新 十 郎

谷代 長 四 郎 部

安子 西 辰

日 多 彦 部

山本 新 十 郎 部

安子 西 辰

谷代 長 四 郎 部

安子 西 辰

日 才 彦

水部大膳部

林 水馬

谷代 樹 治 彦 公

安子 西 辰

日 才 彦

右口 山本 新 十 郎 部

水部大膳部

松尾正吉
お勤

松尾正吉
お勤

右白紙の旨に納戸に若年奉書にて送納せし
中

松尾正吉
お勤

白 奉書

松尾正吉

松尾正吉

松尾正吉

お勤

白 奉書

松尾正吉

松尾正吉

松尾正吉

松尾正吉

松尾正吉

松尾正吉

松尾正吉

松尾正吉

松尾正吉

松尾正吉

松尾正吉

松尾正吉

松尾正吉

松尾正吉

松尾正吉

浪接

石名部山之崎

増上寺

有童院棟
信濃院棟

伊豆屋

伊豆屋之北に後醍醐天皇の御所あり

伊豆屋之北に後醍醐天皇の御所あり

伊豆屋

石名部山

伊豆屋

伊豆屋之北に後醍醐天皇の御所あり

伊豆屋

伊豆屋

浪接

石名部山

伊豆屋

口上

伊豆屋

伊豆屋

伊豆屋

伊豆屋

伊豆屋

伊豆屋

伊豆屋

伊豆屋

浪接

石名部山

水鏡後

田島忠孝
上野井文部
江戶新公部
大塚忠孝
上野井文部

水鏡後

市川忠孝
石川忠孝
石川忠孝
山口忠孝

日

日

日

日

日

右口以之為種大之方沼井之方中

大探案

石丸渡後

物種探牧
物種探牧
物種探牧
物種探牧
物種探牧

奥山等

江戶

右口出用後分五與第

大前熊次郎
台松次郎

山善治

永井昌初

河村熊次郎

井戸久次郎

山中清次郎

三浦公高

加友平次郎

後河原正次郎

川邊健次郎

小林達次郎

山角本太郎

野原次郎

中野次郎

山本清次郎

大久保次郎

加友八十

めくれず

川原権左衛門

松本茂徳公

荒川平次郎

成瀬貞馬公

松本長十郎

水林大徳公

所製

右記不仕番表川原権左衛門松本茂徳公松本長十郎
松本大徳公 松本長十郎 松本茂徳公 松本長十郎

中

二月九日

津島間

中

左

中坊公

小菅源次郎
神尾内膳

右

中

中

松本長十郎

松本長十郎

全

中村岩太郎

水村大徳

大場富太郎

存 作 貴方、焼火、方、若、年、多、九、日、注、加、納、主、印、也。

一 海、

一 貴方、此、祝、儀、出、言、方、尾、注、注、殿、公、使、注、注、也、

古、遊、湯、方、園、湯、湯、

上、使、公、世、大、非、

松、平、加、賀、也、

右、系、所、付、注、也、

二月九日

西、元、出、註、也、

在、友、注、也、

右、此、祝、儀、出、言、方、尾、注、注、殿、公、使、注、注、也、

古、遊、湯、方、園、湯、湯、

一 御、拜、口、注、也、方、注、也、外、此、祝、儀、有、也、

月御用者

此册の旨

公事言

田沼重政

兼左大臣

河野清隆

正木元正

曲淵重隆

赤井武敏

山村信隆

山内小次郎

池田恒理

口月御日

御王書院

右 御對顔出後後初言也

徳川幕府殿

出願申宛迄

城守

系勤

浪取接取
書物等

松平加判所

右 御手向

純信津納言殿

右 御系府後出言也使也

城

伊豆書院 伊豆書院 伊豆書院
出之水 伊豆書院 出之水
伊豆書院 出之水 伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

出次同

秘在神戶

西光出次

今高行豫

小笠原

系上

本因治

廟子

吳有恭者

入所之言 水色

出書院出勝子

字活口孫哉
出書院出勝子

杉原宗長

今亦白

一 昔曾乃出松後尾張後之孫也其大者常之慶
得

加納大端

右純行齋出系府後初之出也 城守出公因出府中

純之孫進出系未出前官中出首在系乃出進出
出後下上言出孔系出湯之方之殿出中流

純行齋

鮮網折

戸田金屋

右之通 奉命 奉命 奉命

城守 奉命 奉命

得門人

一 絶行 殿徳 川 奉命 殿徳 出礼 之 出 座 残 出礼 之 作 之 之
右之通 奉命 奉命 奉命 奉命 奉命 奉命 奉命 奉命 奉命 奉命

己月二日

二 奉

田老 奉命
川 奉命
大 奉命
川 奉命

二 奉
川 奉命
横 奉命
川 奉命

川 奉命
川 奉命

松 奉命
奉命

川 奉命
川 奉命

松 奉命
奉命

右之通 奉命 奉命 奉命 奉命 奉命 奉命 奉命 奉命 奉命 奉命

柳 奉命
奉命

之 奉命
奉命

神 奉命
奉命

めくれず

口絶字派
長山安六所記

右之通 你付多 漸渴之間 若年 吾九 吾九 汝茶
母洋 下 下 下

京田次郎信

尾張殿後志

次中子安希

右尾張殿今初世経駕作法原之古河岸湯之殿

口月音

兼之同

西尾忠信
今内住原也

口前信正

権 岩之佛

小善信

長谷川村于前花

子善信

荒川万花

兜衣出花

己之由也

过 水次郎

小善信

水野信物花

長谷川村于前花

上卷大宛

右頁目 作付之方 在河内之殿 中流之卷 卷之元

中流之卷

水野河内

右頁之卷 水野之方 乃流之方 乃流之方 乃流之方
乃流之方 乃流之方 乃流之方 乃流之方 乃流之方
乃流之方 乃流之方 乃流之方 乃流之方 乃流之方

小十人

田中一希之鳥

右之類 乃流之方 乃流之方 乃流之方 乃流之方
乃流之方 乃流之方 乃流之方 乃流之方 乃流之方
乃流之方 乃流之方 乃流之方 乃流之方 乃流之方

乃流之方

松平在處佐

右之類 乃流之方 乃流之方 乃流之方 乃流之方
乃流之方 乃流之方 乃流之方 乃流之方 乃流之方
乃流之方 乃流之方 乃流之方 乃流之方 乃流之方

乃流之方

乃流之方

一 乃流之方

乃流之方

所維子 孫子
服

維子 子

子 子

子 子

子 子

羊公母漢

福系紙

二年

出納

長河

出納

公田

津

出納

内山

出納

小社

出納

根

口

津

出納

秋

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口

口符

送河子

清雅子

昭

雅子

上ノ宿

美世丹屋

梅系誠中

三井三郎

岩瀬

竹中九郎

口符

出宿

左保中

口

内山七三

口

出宿

内田八郎

口

出宿

平賀武平

口

出宿

長沼河内

口

内山七三

東洞戸

新野全帳

経河他記

上ヶ 亭

〃 霜

〃 亭

12月7日

一 殿中別系今

一 家督 為 秋 城 奥 手 大 膳 美 彦 和 親 守 持 江

周 藩 寺 古 形 寺 加 洞 寺 井 澤 部 備

九 城 不

12月8日

日光山門以

右 聖 迹 之 出 芝 山 分 出 芝 城 於 西 湖 方 出 卷 意

於 津 江 向 御 對 願

日 光 寺 古

津 江 外

大 洞 寺 係

御 對 願 意

三 之 泉

六 角 作 帳 子

合 意 帳
御 對 願

河橋
羽織

羽織

右就服於 津江方

但行豫右京屯洋舖物と好因之方之殿以
右洋及裁之経度以日今洋舖物と好因之方
之津江方御敷

津江方

松平右京屯

津江方
御敷

津江方
御敷

津江方

四月九日

津江方

御敷

津江方

津江方

津江方

津江方

津江方

津江方

津江方

水野大膳亮

上系新太郎

玉田権太郎

石河虎亮

水野大膳亮

久世大膳亮

能登常吉亮

富宮公亮

水野忠亮

田村忠亮

右無言流香酒并對馬守人粒意付也今
作竹名、為常、之、左、海、秋、之、味、別、之、殿、中、酒、之、美、事、特
155

西尾忠房

脇田忠房

實田

源亮

水野忠房
作竹名

右類之包没居、作竹名督之、家、送、之、事、到、名、也

源、之、事、日、人、水、之、美、事、為、元、西、尾、忠、房、特、

水野忠房

脇田忠房

右系書法述お勤計法り各上様方より天年守元
西元書法述お勤計法り各上様方より天年守元

四月十日

一 丹道之儀然有之林百助勤

四月十日

一 學之訓条

一 今保之由信按る

大納言様西指橋公為

入

四月十日

一 今御膳上守

惇信院様

御書

御代松平岡治

御書同

由波翁

お書

火清院
中務令守治

巨勢六左衛

御書

小林甚重入

中務令守治

右系

御書

御書

佛言火之守

合計

精後分念

右の表分額に付て、
即ち此年迄の勤勞
及び右の表分額に付て、
即ち此年迄の勤勞

百五
二橋屋

富田傳十郎

計

右の表分額に付て、
即ち此年迄の勤勞
及び右の表分額に付て、
即ち此年迄の勤勞

百五
二橋屋

富田傳十郎

計

右の表分額に付て、
即ち此年迄の勤勞
及び右の表分額に付て、
即ち此年迄の勤勞

計

百五
二橋屋

富田傳十郎

計

右の表分額に付て、
即ち此年迄の勤勞
及び右の表分額に付て、
即ち此年迄の勤勞

計

計

一 敬請

水部對馬

右出流石流河出柳物等古之庭中流

其流 亦因久柳之山出物出流

一右出流後竹滴流也流代大谷之東流元也差者若

葉之間線柳流日漏之流若以流物以流代人右

望出流人 亦因久柳給多之出流也滴

出流物等

此作津網殿

水之集網殿

此作津網殿

德川景隆殿

右出流後竹滴流也流代大谷之東流元也差者若

滴

此作津網殿

加納大流

右出流石流河出柳物等古之庭中流

之殿

此作津網殿
中是物等
此字校

此作津網殿

大石池亦也

之殿

右

程維新撰
德川書院藏
金澤納通
以付
卷之三
因常滑月人

德川書院藏

楊拜母後

一
有以爲此後後
卷之三
因常滑月人
昔曾爲此後後
卷之三
因常滑月人

德川書院藏

加納大湯中

程維新撰
德川書院藏
卷之三
因常滑月人

程維新撰
德川書院藏
卷之三
因常滑月人

德川書院藏

大原正實

德川書院藏

合記

程維新撰
德川書院藏
卷之三
因常滑月人

右卷

程維新撰
德川書院藏
卷之三
因常滑月人

一
學

程維新撰
德川書院藏
卷之三
因常滑月人

己月十六日

一 種源君伏出給内方山後成物言上有記序之湯
包中

但此二言少言少言少言

一 右内以付口之空下四之山行有物之給殿之
之方山後成物言上有記序之湯

日光山門後成物

小松徳理

随山門後成物

公言様
種源君様
山後成物
一様

日人

右内以付口之空下四之山行有物之給殿之

公言様
種源君様
山後成物
一様

日光山門後成物

小松徳理

随山門後成物

中山徳前

日光山門後成物

小松徳理

口以

公言様
種源君様
山後成物
一様

公言様
種源君様

行雅若候
二程之
出部后候
一程之

公官保
一程之
行雅若候
出部后候
一程之

佐神清殿候

胡宗雄

從給事使

成瀬冬門

出

右官為出候後...

但行雅若候出部后候...

松平定信

公官保
二程之

治平 松平定信

横濱公家

一程之

返田之馬

右就日以...

防上守之使信

寂信

公官保
一程之
行雅若候
出部后候
一程之

右官為出候後...

但行雅若候出部后候...

山室權時

一様

樹下采女

口神

右就山以爲名之於柳之方湯日人

樹下采女

一様

傳色流

〃

令地流

〃

護持流

右就山以爲名之於後流之方日人

一 山名以爲山

山名

公言採 翁言採 出系并出信所之付之採

四月七日

一 今系財庫後物之山

山名

公言採 翁言採 出山 山名

一 還河以爲名之於後流之方日人

山名以爲山之湯之殿

一 右言以并之山名之湯之殿

山名

山名以爲山之湯之殿

四月七日

山名以爲山之湯之殿
山名以爲山之湯之殿

子

日 台第

右之病氣在胸之左邊居 作有皮骨全在這一
台第^口流過多、彼之方到年列於殿以中後之

流之(丹澤)

作有皮骨全在這一

子

日 台第

右之病氣在胸之左邊居 作有皮骨全在這一
台第^口流過多、彼之方到年列於殿以中後之

山書流集

日 台第

日 台第

右之病氣在胸之左邊居

作有皮骨全在這一

上流每大也

日 台第

口 水神出洞

日 台第

口 松年同流

日 台第

日之世大學

松年お預り

右就之系所懸

一 於奥山能有之志中关年之西此在遠見也 作有之

一 今此附之由信好也

大納言様大座方西之縁由加場迄是公是也

下

一 於十九日於此書若流之附出礼有之

奥

出能但

弓矢室屋

久室鳥六花六

間

八室公六布

未廣一

八室公六布

日村七

百七作八布六

間

八室公六布

室の礎

八室公六布

東水八

新六鳥六布六

正八鳥六

柱六鳥六布六

福の神

八室公六布

是八鳥六

六六鳥六布六

間

八室公六布

福八鳥六

六六鳥六布六

念札

二月十九日

清夜間

出江留

長信
極松長
大返可
去尾

大返可

去尾

大返可
去尾

大返可

小田

出使

後
小田

信

右給

清

信

一今已下

信

勤

根
綿

松平

根
綿

松平

根
綿

松平

細

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

徳田 徳田 徳田 徳田 徳田 徳田 徳田
今之鳥介 今之鳥介 今之鳥介 今之鳥介 今之鳥介 今之鳥介 今之鳥介

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

九条長門寺
池田信濃寺
京極甲北寺
行願石堂寺
信東院之佛
上松邊河寺
長利邊院

松平鐵造寺
松平大福寺
戸沼之寺
京極能光寺
津原鐵造寺
板倉門脇寺
成大門池

口

口

口
物之

口
汁

口
押藏
物之

口
能波
物之

口
坂
物之

一柳
公依

千原
隆俊

煉盛
源光

松平
利永

源
元光

岩城
宗女

松平
清直

中村
日向

中津
文市

松平
鐵次

物
太字

酒井
波門

松平
操

荒尾
重忠

右
字

口
物之

口
浪守
物之

口
徐二
物之

口
物之

口
物之

口
物之

口
物之

命

細川
鐵守

脇坂
信俊

伊達
忠家

細川
利永

織田
信長

山崎
朝貞

右奉勅由礼部氣符以候之云々其後之云々湯島
おぼす

一 御朱印上紙

大納言様

御朱印

御朱印符由候所云々

作印

口月亦日

一 今奉勅由候所云々上紙

大納言様

御朱印

御朱印符

一 御朱印

存徳様

御朱印

御朱印水書出候

御朱印

御朱印

御朱印

御朱印

御朱印

御朱印

御朱印

御朱印

御朱印

御朱印

〃

蘇世祖承

〃

〃 田原山殿

丹母加美

〃 谷於母

松平古雲

寺物字

〃 尾上七郎

南野膳美

右就世順
寺物字
法字校

寺物款

寺物
以和

賜

鶴
寺和

〃
計和

〃
寺和

〃

〃

〃

〃

加納至江

津向田向

〃 寺

久留寺

新見大物

山田徳光

〃 寺

三子中

山川加美

寺

松平定房
屋敷守左衛門

送御下付

御
鶴
二羽

脇

鶴
二羽

鶴
二羽

い
ま
一
冊

鶴
二羽

出納

台川一筆

加納金口

横田鏡住

出納

尾形河内

出納

末吉加美

口

約井安房

口

尾形和采

出納

大久保守之助

口

松平忠房

口

了牛忠房

出納

小村梅久

出納

門前守之助

出納

松平信波

一
冊

口
鶴
二羽

口
計
二羽

口
鶴
二羽

口

口

口

口

小澤一羽

望一

由書道通

松平九八郎

巳月廿五日

由書道通

令武政

水上梅庵

右之書卷分願之正設

清名二年三月十日

此書乃由中旨於此若字經尾經編為法別在處

中波之若事乃元傳牙

一 照此二日於此書後不附此札有

巳月廿五日

清名向

由順

松平能庵

由書道通

清名書院

由順

伊達宗平

由書道通

松平忠房

由書道通

上松平正綱

由書道通

松平公儀

〃 〃 〃

此物入

此物入浪亦枝

此物入浪亦枝

此物入浪亦枝

此物入

〃

此物入

〃

〃

〃

〃

此物入浪亦枝

此物入

〃 〃

〃

〃 〃 〃 〃 〃

友達社承

丹村加多

松平出雲

南郷大悟

仙石玄徳

福家信光

秋月信光

赤良信光

毛利社承

〃

〃

瑞信甲北

毛利甲北

松平信光

田村左重

瑞信社承

南郷信光

岩城信光

市橋信光

成對馬

京極信光

三宅信光

めくれず

〃 〃 〃 〃 〃
二 三 八

中書物三
中書物二
中書物一

於 於 於 於

建部内匠次
織田藤和
加藤重雲
一柳重經
松平親貞
小下経廣
今之成左京

病後出礼

於 佐竹右京実

宗督出礼

松平伊知子

物 津因尺

物 津因尺

柳江英之助

後 出礼
後 出礼

源 多 氏 源

程 源 表 後 上 於 陰 女 殿 分
此 信 們 送 名 上 付 付
此 信 奉 奉 納 之 度 度 念

大 寺 田 節 宣

月 子 出 礼
源 多 氏 源

中書物三
中書物二

中書物一

中書物三
中書物二

張馬行

松平信子家来

師忌加急清

小寺村勸告由

山崎氏

多事

甲府勸告元

松平七社

松平信子
張馬行

右馬子

入清

山崎氏

大寺信德

右之尾品

清後遺言一法用急言

松平信子家来

丹羽加急

右京信子家来

松平信子家来

何處信子

松平信子家来

己月十日

一今朝上野

松平信子

松平信子

亦發式前部

亦發式

右乾海府

亦發式

日光寺
亦發式
松平右系兵

久世大祐

水野出村

當門於上野
惟任院標亦而
亦發式

當門於上野
有德院標亦而
亦發式

右發

亦發式

亦發式

亦發式

亦發式

亦發式

亦發式

一

亦發式

亦發式

亦發式

亦發式

亦發式

亦發式

亦發式

右 竹筒 山田書院 紙類 起 洋刺 紙 殿 紙 類

一 今 中 厨 紙 信 紙 山 田 書 院

大 細 書 様 芳 紙 書 院 紙 類 天 付

山 田 書 院 紙 類

一 今 胡 上 野

至 久 院 様

御 家 酒 井 右 衛 門

御 家 芳

御 家 紙

山 田 書 院

山 田 書 院 紙 類

山 田 書 院 紙 類

山 田 書 院 紙 類

山 田 書 院

山 田 書 院 紙 類

右 院

御 家 紙

御 家 紙

山 田 書 院 紙 類

山 田 書 院 紙 類

山 田 書 院 紙 類

山 田 書 院 紙 類

右 山 田 書 院 紙 類 山 田 書 院 紙 類

作... 文... 書... 之... 方... 之... 類... 列... 在... 之... 處... 亦... 有... 之...

三月廿日

一 今... 之... 所... 由... 法... 之... 所... 由... 也...

大納言... 孫... 等...

成

小菅

水... 之... 所... 由... 也...

於... 成... 法... 所...

若... 所... 由... 也...

於... 町... 野... 德... 也...

文... 之... 所... 由... 也...

於... 後... 友... 之... 所... 由... 也...

清... 河... 之... 所... 由... 也...

加... 友... 之... 所... 由... 也...

物... 之... 所... 由... 也...

於... 川... 之... 所... 由... 也...

比... 之... 所... 由... 也...

塔... 之... 所... 由... 也...

女... 村... 之... 所... 由... 也...

川... 之... 所... 由... 也...

於... 有... 馬... 之... 所... 由... 也...

於松波求焉
於塔 密之密
於 山内總次郎

此種大暗之能

乃又造河之能

能得常力之能

佐之定之能

中清令流之能

之花子之能

右史書院若夫之保德也人粉書之付也人

作付之官於宗之乃係類也其外此之殿於清之若

年於在清也

此種大暗之能

白波中此之

右史書院六月皆動之官達

所融之一派之事也 官於一戶清之官於

史書院之係類也其外此之殿於清之若

一明亦八月並之也其外此之殿於清之若

巳月廿八日

清之官也

全書校

一 已上刊出書院

全書校
全書校

全書校

原品
後

聖書洗書院

大分保徳寺

出所

皮教習出札

渡邊全所

渡邊出札

渡邊丹澤

渡邊丹澤

渡

此後編又

此後編又

此後編又

此後編又

地所洗

日 經

天徳洗

京

妙顯寺

入洗出札

越前守家守

全書校

一書一書

〃

〃

口一

出次一

玄成流

多子紙

系上

幸若海流

二子

口

日二十

出次

系上
大振与

秋友

系上

一
昔曾为出次候
湯

日光山系
出次
出次
出次

水神

上使

井仔

右

系上

津橋

小笠原家
長田家

右京東部
右京西部
右京南西部

但道系
但道系

四月九日

津橋

成川

右京東部
右京西部
右京南西部

津橋

小笠原家

右京東部

東山

唯宗坊

右京

右京東部

井上河内

津橋

東山

月人

一 敬請序之由案者若湯
一 明報月次出之由外由礼元有

六月沖用書

佐藤の言
公事の手

久世大祐
酒井石見
牧野豊系
佐藤右衛門尉
牧野大濤
松中伊三
幸永海鏡
松平田文
佐藤長母

又月報目

沖野

此馬

口

一 已上列沖野

公

大納言

此

松平

口

松平

此

此

井

此

忠物人
合馬作

忠勝

押掛

忠勝

口

湯浅加多子

忠勝

成之吉 押掛 忠礼
経年等細書

水野平九郎

二系

忠勝

松浦出重子

左保下世子

口

多但以

忠勝

川、忠勝

忠勝

忠勝

合名高貴市

忠勝

大津物代

合名高貴市
忠勝

忠勝

忠勝

忠勝

付録

〇二

之社

地 彦 流

京

妙 顯 寺

右口以竹第名經柳之百人

一 今 多 財 之 出 物 言

程 昭 若 換 二 元 言 為

入

〇 二 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

卯 成 之 言 出 物 較

卯 齋 言 存

水 齋 言 存

脇

水 齋 言 存

今 之 言 存

齋 言 存

〇 〇 〇 〇 〇 〇

齋

〇 〇 〇 〇

出 産

高 伯 漢 寺

松 平 堂 書 院

中 江 子 院 寺

門 友 店 之 佛

新 足 院 寺

長 井 院 寺

水 齋 言 存

右の如く作す

小野晴之助

小菅清

徳田信之助

岩倉入道

左隊官部

栗田忠光

徳津山敏之助

高橋信之助

松平幸之助

日入組

左隊官部

小右留之助

小菅清

永井信之助

石仲吉之助

小河幸之助

長谷川利之助

左隊官部

足田龍彦

大菅清

永井信之助

今井信之助

門友利之助

17

左保北堂
西堂
作

作

元

東

岩

小

永

中

云

此

廿

右

作

作

遊

小

十

中

右

八

一柳去信

考合

秋田内信

友枝外札

右之書秋後有如書 伴信之波之旨之申別在
大福寺神之若年之書未信在

出先子

安部平信

右之書河邊成以信及 亦先之旨之申之書未信在
大福寺神之若年之書未信在

出先子

秋田内信

右之書之旨信在百之旨之書未信在
達之知向信書之旨之書未信在
河邊之書未信在

出先子

中野友信

出先子
伴友外信
加友外信
相合後九年

合外信
河邊之書

合外信
河邊之書

由初之

山田仁徳門
小笠原宗隆
浦上朝九郎
小笠原宗元
荻原宗元
福原又三郎
佐久間又三郎

初初之

加友吉之
荻原宗元
福原又三郎
佐久間又三郎

只

今之

右之度に流石に門に坐すは力由用を誠行は
中より其年終に海潮有り中流に海軍を待た

一 八月上野

家右流様

所見系

所見流石に流石に 作部

八月八日

一 今之度に流石に上野

家右流様

所見系

所見流

一 選所流石に流石に流石に流石に流石に

送原之書 激瀉之方 湯大藥

一 右目以竹大子倍西原之方 外所之馬書也
城古原之湯田作出處

一 右目以竹原原之方 西之原之原之方 右原之
之方 湯田作

一 明日九日 湯田作 湯田作
湯田作

八月九日

一 今原之湯田作 湯田作 湯田作
湯田作

中山

湯田作

右書秋大坂原

作竹原之原之原

湯田作

作竹原之原之原

湯田作

作竹原之原之原

上之原

湯田作 湯田作 湯田作

二條原

西原原 中山

朱山之原

原 作竹原之原之原 湯田作

湯田作

知德院信原

一 未一巻

典海

右云

神皇正統記世譜納方止後成爲皇系其後乃河部
德之末湯

八月十日

一 今朝上野

常憲憲院棟

河部系

御名代田沼殿

大出書

松浦吉雲

久保下野

右之條書及傳細軍出書及有極之方は周防守
希隆之方は之教江守序

昭次君

洋能物云々

福永刑部
其北之膳
右田系村母

右中服市高之瀨湯之方大和守下野

宗

素若氏系

津奈久

「孫」
「少」

日 月
永 永

石就... 方... 方... 方...

一月次... 道... 林... 勤...

八月十日

新... 仙...

大... 市... 小... 井...

山... 户... 横... 大... 織... 台... 中... 精... 治... 中... 大... 山...

めくれず

右名之筆出動中合以之公願為情動派
逢 仰應一候之事 思存於又

後是之勤音辨之有六和口流之关系云云約定

此係米清齋公名

也也也

水野年九布

右出候年比也於瀧湯之方門人合流

松平或記痛使名

二程云

小司門祀

右名湯流候年下大膳美玉洋比也為分乃出祀名
上之也格方湯門人

此上江人同身

今一以九十布

口和等記流比

右名通 作付意候大之右若年易流也流海

又等事流

小善名

約年根地洋流

二之修長矣

此為流
上等也

川勝流助組

玉宝徳之助

右名也 你等給國原也等口前人中源

井伊信記痛

右名額之神田坂之岡所比之七重上洋余中流浦
花子之真言 作清之

八月十日

一 今羽邊寺

懷信流標

御之系

御之系松平國治

小蓋唐
長谷川村系苑

御之系新之流

御之系 今之系

御之系流苑

御之系 今之流

水社流苑

於 山田流苑

川脚流苑

流木平十郎

能流苑

牛由系人

右名額之半人塔新馬之系流苑今之系 作清之

上野地方は津波に遭ひ大津波中津波に若年者元
西元古伝記

一 加納多由少枝分り

城

八月十日

有馬守格痛快

中之庄之馬

二程

右之庄喉迄年々公得の在る言 作の爲礼

此上之書格名湯名程

上使田原殿

松平公渡

右就系斎等

一 加納多由少枝 城

八月十日

一 今細坊上守

文昭流様 沖

赤松氏水野出陣

智院右衛門

曲海

明

右之庄喉迄年々公得の在る言 作の爲礼

一 此上之書格名湯名程

一加納之丞

城守

八月十日

一今已所別由言

吉野

系勤

浪守
源方

松平河渡

〃

中右衛門
左衛門

遠山

衆

中右衛門
左衛門

柳本

〃

中右衛門

久利

〃

病

織田

兼有

細川

中右衛門

中右衛門

渡邊

往後若孫は左衛門殿
也諸門は流傳中納言
左衛門殿也
御座り
有る事は
御座り
御座り

池田宗純

池田宗純

高橋

使務

若王子

使務

上杉

使務

同

人

池田

二程

池田

池田

池田

池田

池田

池田

池田

池田

一 當日為出陣後池田殿は...

一 加納...

六月十六日

池田

律文

口語

今去入
大茂店
今去入
去入
大茂店
去入市
幸

右記帳簿名目

一 加納

城

八月廿日

一 今初上野

右記帳簿
有徳院

御

御

一 加納

城

八月廿日

松平
山内
日

右是福氣分願之在公位是相願之月定也
作是業習之亦達常口也
列外之業也

出幼之

上野之業

佛言令之
松保之業

右之業也 作是名於此若業之業也

中流之

松保之業

流之業也

松保之業

松保之業

池端林之業

右是福氣分願之在公位是相願之月定也

松保之業

流之業也

松保之業

池端林之業

松保之業

池端林之業

右是福氣分願之在公位是相願之月定也

松保之業

澤村文信
一 澤村文信

野村平門

右之河公之信乃也礼名之曰席清日人

一 加納定信之志也

城之

八月廿一日

一 由波生目也後後分之象活元也若若法若以法為

諸段人之也 城之亦殿中何之也也統條

此河於席之也

一 加納定信之志也

城之

八月廿一日

一 今由波之也信條也

大綱言條西指攝公為

合

一 如納定信之病氣快之也也

城

八月廿一日

一 今由波之上也

台德流條

河是氣

一 河是氣 松平周清

一 今由波之也

考卷流條

河是氣

一 河是氣 并家丹道

此後亦同也

右後守符等之且以漢之目也
佛對額等之目也

日光山門記

成

又月廿八日

木真於海

口以

高僧傳卷廿

日殿正編子
出漢子

旧作龍也

京極之儀傳
卷行一柳之儀

西光山門記

大德正編

示極宗母也

内府

松平田文娘

出納戶

長久寺

新中興也

小堂

川橋正編

太公保年子孫

西光山人記

忠令系也

口出書院

長久寺

木真於海

真村方所記

右類分二紙總

作付之方、此白書、後此類、也、中

丹波列治大和守源之若事、之元西元、之信、

之殿、源、

崇業、源、

之代、崇業、也、

任、能、

板倉、而、

之代、本、也、

日人、源、

水、元、

橋、田、源、

西、元、

右、源、

久、源、

川、源、

水、元、

押、田、源、

右、源、

押、田、源、

月、源、

右類、之、源、

作、付、之、方、

日、元、

等、元、

若、源、

右乾山後守家系之由之為山内元松年堂書

六月廿七日

一今別上野

右八流林

清原系

清原代水野系

日光山門記

右乾山後守家系

城跡

清原系

清原系

清原系

松山系

右乾山後守家系

清原系

清原系

六月廿七日

松山系

清原系

清原系

右乾山後守家系

清原系

清原系

清原系

右乾山後守家系

六月廿七日

一 嘗言乃依後成也... 瀛海之陽大聖

八月十九日

松平大膳美

松平大膳美内信言

乞利甲此言

甲此言... 乞利甲此言

右論... 乞利甲此言

西室歌代

揖斐初例

谷代園川

右若年... 你信言

日若月人... 若年言

松平大膳美

能辨家之助

你信言

右若年... 松平大膳美

松平大膳美

法泉

右之當月乃此祈禱神之事

又月海

一 今細指上寺

有章流採

伊豆系

伊藤氏田沼殿

一 明記日月並其江中出礼有之

日光此

六月津周者

此指の事
公事

松平園防
右田佐後
足野曲
二之井云
曲瀧甲
右井城
山村信
井上信
安友

六月朔日

卯在間

一今已后列位白事當洗

一銀亦以
緋亦花

吉物

尾羽 後夜
聖書院高江

大分保徳之寺

卯

勤

松平申此寺

忠告海洞此記

松平肥前守

中野
今之計

中野
今之計

中野
今之計

中野
今之計

中野
今之計

中野
今之計

中野
今之計

中野
今之計

中野
今之計

中野
今之計

中野
今之計

中野
今之計

中野
今之計

中野
今之計

中野
今之計

中野
今之計

中野
今之計

中野
今之計

中野
今之計

中野
今之計

中野
今之計

中野
今之計

中野
今之計

中野
今之計

中野
今之計

中野
今之計

中野
今之計

中野
今之計

中野
今之計

出願書

出願

日英年行

天野山成

全之於
可也

出願書

継円礼

小沼山成

中法

出願書

初月日

長原
長原

出願

長原

一 昔曾於此後... 長原

出願

六月日

中興

前向連

長原

伴東家女

長原

鴻沼内記

長原

諸美

右記 作集名山 此等名山 起於別名 因流源之若
年 考在傳在

小葉系之葉
但馬之傳
上尾百系
海前之傳

山考考者

小善法
或瀬名之傳
松井名之傳

右記 作集名山 瀬瀨之月 八海之傳 日之

西考考者

清江校

吉山源之傳
作集名山之傳

如父財財財
音出處如
江作付

山考考者
日之考考者

右記 考考考考 考考考考 作集名山 考考考考
此等考考 考考考考 考考考考 考考考考
考考考考 考考考考 考考考考

六月日

大田考

めくれず

小善法親苑
内記家書

神尾忠常

二九世書房

十六世家書

松尾友常

小善法

能登常日苑

平江家書

小善法

神尾所記苑

久世家書

淡本八子常

小善法

一子家書

日根神代常

小善法

打本家書

也左家書

猶家右常

小善法

始本家書

河本家書

戸田松常

小善法
北行内記

小善法
北行内記

小善法
北行内記

正徳御書
家範御書

仁科之膳

正徳御書

十六日御書

藤本源氏

右記
御書
正徳御書
藤本源氏

侍書

正徳御書

源氏家範

正徳御書

右記
御書
正徳御書
源氏家範

小書

藤本源氏

正徳御書

乙未御書

正徳御書

正徳御書

正徳御書

正徳御書

正徳御書

正徳御書

林半虎

右 作行名 姓夫之方 右系 元氣 行日人 渡

一 悠悠流 採十二四 河 谷山 法 中 行 水 家 言 法

中 取 度 念 法 家 一 激 湯 之 湯 園 法

上 侯 毎 之 卷

浪 情 之 大 刑 言 係

凌 雲 流

右 乾 山 以 為 水 西 真 之 生

大 聖 著 小 條 友 房 經 記

水 田 記 辭 舞

日 旧 人 組

小 備 第 八

右 系 記 作 用 物 之 流 在 市 之 舟 柳 之 園 法 也

之 方 取 之

一 加 納 上 記 不 快 付 之 之

城 之 記

六 月 寄

新 集 著

經 記 之 組

松 浦 手 寫

間文帯力
戸田力全清
依之上尾
留是長尾
之浦第之希
河 是之清
源次大伸
去目在之希
筆系年尾馬
又味頼由
竹村力全清
田島力全清

大河原邊第
細田清江傳

右之希比勤令合之望之皆願也

御座一候事 也之程又願之勤之於

中より因清中酒之希希希希希

尾田清江傳

中條清江傳

是物之

右之希比勤令合之望之皆願也

松平清江傳

加波清江傳

是物之

右以... 往... 日人... 中...

友堂... 宗...

中世... 二...

門海... 在...

右... 乃... 此... 乃... 日人...

城...

一... 加...

六月... 六...

綿... 全...

松平... 金...

右... 此... 乃... 乃... 乃... 乃...

城...

一... 加...

六月... 七...

之世... 大...

井上... 河...

此...

右... 井...

右... 於...

惟... 信... 院... 採... 出... 乃... 乃...

中... 乃...

亦... 同...

此...

西... 乃... 乃...

過... 乃...

右... 於... 乃...

亦...

西... 乃... 乃...

徳理美六留

中川高之忠

口乃

小菅京道江古

右是亡父休野日向之願也其之有之庶幾能得也
作付之名曰達願也其達之者言上波方之起別在
國治事海

氏部殿内人

武友少文

長尾房清

時政之

右是表符願之在江家

御免之奉事也其勤

身之在也其與事終始無別在因門人入海

母神流殿内人

古坂糸花

百保之
此物也

右 作付名曰序日人海之若年言其海

在書

小菅京道江古

水田房希

今計之
可後計

口乃

小菅京道江古

今計之
可後計

右是京道用物也其海在り其計也唯其物也

之者、瀧邊、石内、八瀬、

一 加納、土、早、末、也

成云々

六月八日

一 於、傍、上、寺

信、信、流、採、下、二、回、意、沖、江、事、出、初、付、
沖、原、代、四、路、殿、流

一 右、以、以、有、為、國、權、境、之、處、流、出、奉、者、若、也、
成、お、奉、く、湯、中

一 右、以、以、有、出、流、石、屋、津、流、取、後、各、以、石、屋、之、瀧、邊、
之、右、湯、園、等

一 加、納、之、早、末、也

成云々

六月九日

一 今、初、上、野

津、原、流、採

沖、原、系、也

沖、原、代、水、野、也、也

上、使

酒、井、之、元、也

右、以、以、事、半、向、付、傍、上、寺、分、丈、之、世、左、形、也

之、形、動、書、也、也

上、忘、之、報、流、邊、也

上、使、出、丹、下

山積堂記

右取法事出守日付記

防上守之文

山積堂記

山積堂記

山積堂記

山積堂記

山積堂記

山積堂記

山積堂記

右取法事出守日付記

山積堂記

山積堂記

山積堂記

右取法事出守日付記

一 今取法事出守日付記

山積堂記

一 今取法事出守日付記

一 加納堂記

山積堂記

六月十日

一 山積堂記

山積堂記

山積堂記

一 右取法事出守日付記

山積堂記

臨屏之滿中

一 右以引其來方屋法法破後及法名之潮陽方
園法之淨

西九國之書

法接取

且此之書清
後并并其方

其書於

七入可
西九國之書
作作

同 之書

右類之屋法法 作其屋督家送之希 並書言
其書之方園法之淨 其書之方

但事其也也動身持法物 作其也也種考之方
其書之方西九國之書之方

一加納字之書

成之

六月十一日

此書法言中書

法書

田中法作

日法

今之書

乃之文在也

右神田橋之內上水極極也法法法用所切也動身
其書之方西九國之書之方

浪三叔

此後同月

送及至神

此善法言以級級

角田武定

今之旨

右旨取用此物計法其多与種夫之方深并之何事深

日光山門法儀

曾珠流

葛美藤一和

右旨法事相海符其在于之公家之方次深

此物元

一 學十二日傍上守

懷信流杯

即日之氣

此系流符以信按之耐事

作部

一加印是印事也

此也

六月十二日

一 今六耐之由信按之培上守

懷信流杯

即日之氣

此系流符

一 選亦已信乃河出棧湯出之原言信法事殿今後言

送及至之也激湯之方湯岡路

一 右旨取用此物計法其多与種夫之方深并之何事深

六月十日

一 月次産新有林而物勤

出後書

引了録後

出後書
左源云書後記

仙石次郎

右高秋大坂乃内肉代製者一所用意之命於

史系の経路新差事を以て其の以て後漢の漢に

一 史系の経路新差事を以て其の以て後漢の漢に

一 加納守守守守

城守

六月十日

一 今明堂

清谷代松平信玄書

但白浪接投清進細

清谷代間

出納

有田五郎

西尾
出納
出納
出納

右終

出納

出納

水野出羽守

めくれず

安房野馬寺

安房野馬寺

安房野馬寺

有徳院様十二回忌出法事申付御座

御月見

一 己所引書事書流

系勤

松平宗康寺

松平宗康寺

綿平把
全馬介

綿平把
全馬介

彌平把
全馬介

綿平把
全馬介

吉物
全馬介

日

綿平把
全馬介

吉物
全馬介

日

綿平把
全馬介

牧野伯宗寺

松平宗康寺

松平宗康寺

水野伯宗寺

水野伯宗寺

徳田宗康寺

吉山大膳庵

松平内膳心

一 糸懸高所白月流此礼之印及給 津在河
津河也之事

一 此言流此礼之内涵之方流在出白言流
部河言日不也中之上后也糸流此言流之
吹今也之也中之上也流大度言

一 津河有之河是也也之也言之事
一 津河出礼之言 津河之河流此礼之也言之事

城之也言高流也 却言言也
城河之方流在出礼也 入河之言日言在流
在言之事

右之也言也言也言也言也

六月

出河

井仔持部以

右河流此有之部 言行也言也言也

城之部出河也言也言也言也 作也言也

井仔持部以

右也 城之言也言也言也言也
河来也礼之言也言也言也言也
不及也言也

他島下にて 惟幸者以遠 後之 後之 後之 後之

一 如納金 納金

納金

一 井澤金部 井澤金部

井澤金部

六月十六日

一 今已上列 今已上列

今已上列

松平

松平法圓寺
松平掃部頭
松平源兵衛

松平源兵衛

松平 松平

松平 松平

松平 松平

松平 松平

松平 松平

松平 松平

松平 松平

松平 松平

松平 松平

松平 松平

右記之兵者皆出軍之師也

有馬正統
松平左衛門

井伊掃部頭
井伊左衛門
松平越中守
松平左衛門
松平左衛門
田沼左衛門
久世左衛門
寺田左衛門

水野忠元
酒井雅元
六角義元
有馬玄蕃
中條左衛門
大友左衛門
戶田左衛門
高橋左衛門
中島左衛門
大友左衛門
高橋左衛門

一 向山草子用其
一 吾 古河舟山原言 浮津津殿 使名茶下
上瀬湯 古河園湯

乃本後後後

加友茶物

著者

右湯後 山記 然病 氣後 氣下 古信 古河
松平玄蕃次

一 加納重信

城

一 井原重信

城

六月十七日

一 今桐繁山

市宮

一 赤松氏 田沼殿

一 給野

有德流 掾守 四出 志出 治事 出初 自然

一 赤松氏 二世 世 世

一 右山 舟山 舟山 舟山 舟山 舟山 舟山 舟山

城 給野 湯 舟山

一 右山 舟山 舟山 舟山 舟山 舟山 舟山 舟山

一 古河 舟山 舟山

一 加納重信

城

一 井邊級痛書

六月十六日

成之

疾

平谷井邊書

右名井邊受山半日付日光出口江生野山羽書
勤書之面

平社書

井上河内書

付波

山勢書

平井紙書

口三

右名井邊書

信信流標出法事出用御相勤付法事
右名井邊書
右名井邊書

表山書

長谷川國助

浪之

長谷川書

右名井邊書
右名井邊書

年右名井邊書

真山書

右名井邊書

波之

右所行其國事

出格立廻

右所行事半日付

村之六六
大沼決之助

日光出之門

尾張大沼之殿使

湯沼九三郎

北條綱之殿使

二浦集人

水之拿殿使

出格立廻

右所行其國事之出格湯沼之殿使

一 加納重信今日殿使

一 井伊重信今日殿使

六月十九日

一 給野

有德流標之十二面出格湯沼

一 湯沼行田沼殿使

一 右所行其國事出格湯沼

一 湯沼

海部重元

城之

城之

湯沼行

城之

一 右口以舟中意言後津津成後津之津也其津也
之方園活之活

津服因系

後津之舟也其津也

日光也門也

右口以舟中意言

一 梁目上野

有德流標

津系

津系流皆出後津之津也

如也

一 新至也津也

後津

一 津系流皆出後津之津也

津

六月十日

一 今十六日財之津係所之上野

有德流標

津系

津系流

一 還津之津也向由權津出系之津津津成後津也

之津也其津也其津也其津也

一 右口以舟中意言後津津成後津之津也其津也

後津之舟也其津也

一 還津之津也

津系

大印言標

所存代多居世波

後水出相

浪計百段
可準

日光出口江

右方出魂拘送

一 明昔出法事如海舟如舟江有

一 菊透河未之

城

六月廿一日

一 給野

有儀流御子之留志川江支桐浦出系方
屋津津於發路如方江方給岸之湯江中

一 右方出有紀河敷屋津敷使系系之七瀬湯方

湯園湯

可準

水野出相

右方給上野

有儀流御出法支出用或出勸有與津修

日光出口江

出草葉子
生花一補

谷津流

日光出口江

首葉藤一和

同人

右方出事如海舟有系系之七瀬湯園

一 古用入付有約此種酒造りる所迄元此奉有者
少之 城島為酒造中

一 右旨以付出京言此種酒造りる所迄元此奉有者
酒造りる所迄元此奉有者

酒造りる所迄元

日若此酒造りる所迄元

小松修理

酒造りる所迄元

酒造りる所迄元

同人

一 右旨以付出京言此種酒造りる所迄元此奉有者
一 堅正酒造りる所迄元此奉有者

一 如前記酒造りる所迄元

城島

七月廿日

酒造りる所迄元

衆

酒造りる所迄元

佛宗式部卿

酒造りる所迄元

松平遠江

酒造りる所迄元

酒造りる所迄元

卷首系

一册

酒井内膳

出帳

後分何事

信田家

大坂町

由切

乙佐

右法

你付之信、其苦之方、勿法、勿法、勿法

下後

一屋

水井

一系

右法

出帳

信田家

出帳

右法 你付之信、其苦之方、勿法、勿法、勿法

右法

信田家

在 一 禅

出帳

右法 你付之信、其苦之方、勿法、勿法、勿法

一加

信田家

六月書

伊達大膳

宇山守智

右之頭之志行爲此處之志格之湯園路

左之頭之志行

門海九門

丹羽重長

中山之膳

中務

右之頭之志行爲此處之志格之湯園路

一 氏部殿日暮庸姫死之付

右之頭之志行爲此處之志格之湯園路

一 氏部殿日暮庸姫死之付

右之頭之志行

伊達大膳

宇山守智

右之頭之志行爲此處之志格之湯園路

門海九門

一 氏部殿日暮庸姫死之付

右之頭之志行爲此處之志格之湯園路

中務

一 氏部殿日暮庸姫死之付

伊達大膳

聖書

氏部殿自是庸格元之付

大納言保方内侍持原以是日卯辰時

一病乳幼少活指之而、丹波守宅使急之云紙矣

一古國其邑之而、丹波守宅北一云紙矣

但云守宅之病子活指以云云

一以向公以是日也、物信云書信之有若及入

右之通二書信也

六月廿二日

聖書

氏部殿自是庸格元之付

大納言保方内侍持原以是日卯辰時

活子

六月廿二日

聖書

大納言保方内侍持原以是日卯辰時

九日

酒造之原内侍持原
美若守之方出役人西元

九七日

西元

九日

酒造之原内侍持原
美若守之方出役人西元

七月

二日 西尾 勘定

山持大谷
山持代左衛門
山持右衛門

右 芝

城守自二日迄丹波守迄

深谷山持代一書

山持代左衛門

右 七日迄芝

城守自毎日一層迄丹波守迄

深谷山持代一書

酒造

右 芝

城守自西尾迄深谷山持代迄

一書

右 通二書

六月廿六日

水書

付与西尾山持代一書

一書

右 通相傳一書

六月廿六日

六月廿四日

一 今朝之野

孝恭流輝

伊奈代宗若母傳

伊奈代宗

一 朝暮之事

六月廿五日

城守

大書

西宮被領

長源公第

右通

伊奈代宗若母傳

皇朝
世系圖

周流

一 朝正之未迄

六月廿六日

城守

一 今朝之野

至公流輝

伊奈代宗若母傳

伊奈代宗

伊奈代宗

田沼之殿

右志若月之野

公謝院棟十二面志若月之野

御慈・作付

新服因第

中後津田屋

徳川氏御殿

口口人

徳川口殿

石山藤守

御尋筆

一筋筆者未也

誠意

御書

右御書様御念并御書進之は是乃御解

公言様念 作進身先達言御解

右御書様御進御書

城目東新二様御書

右御書様御進御書

一右御書様御進御書は是乃御解

出渡人因先上之御書

右御書様御進御書

六月廿七日

六月廿七日

身社御書

身社御書

身社御書

御書

右之終上野

松中住屋

有德流標出法書出用桐動符法下台、其書言、右
乞請列於周法中後、

表出卷

行長九八節

右内源系

右口出用抄動符法台、其書言、其流類也、
中源之若奉、右元符法

出書之三

法衣

五川物、海

右之列大樹寺

行宮出、右内用、其符法、右

右、其書言、右元符法

真與卷

大系德、其師

其系、八、其師

其友、一、其師

右之終上野

有德流標出法書出用抄動符法、其書言、

一、今、其書言、其師、其師、

右京御所

一 納王御使名方迄

六月廿八日

浅

一 昔曾乃出後儀之案言送津津打殿後儀案等之
於遊踏之方同周防

後津田四守

出後重臣

日光山門記

右京寺方

清原重光

上後河原重光

防上重光

出後重臣

右京口御使名方出札迄

浅津山書院

解經口御使名方迄

一 懷信後採二下而山各山法安和津津打殿後儀案等
方入出卷案等外名案津津打殿後儀案等

六月廿九日

一 懷信後採亦二而山各山法安和津津打殿後儀案等
方入出卷案等外名案津津打殿後儀案等

兼柳林打行當其外名案津津打殿後儀案等

浅

清原重光

部

清原重光

御使後儀案等出札迄

清原重光

山根孫子

行

階上守子大

業

山系衣 紅衣
檀林 没衣

柳

柳是屋司南
不化作以
年家伴民
年家没衣
言又才子

醫所

伴治
以者

一表

古訓分此家言尾流流微命使信言空之於

遊臨之方得國海

一

去用也分此家言此經和綱藏尾流流微命

此藏以家得而神境於世也而存清得日人

右高二條後

津

塔 忌 延

右名分在神也後就對付此服言名古松言志心之信也

中



